

私が体感した中国の変遷

改革開放政策に伴う
社会の劇的変遷

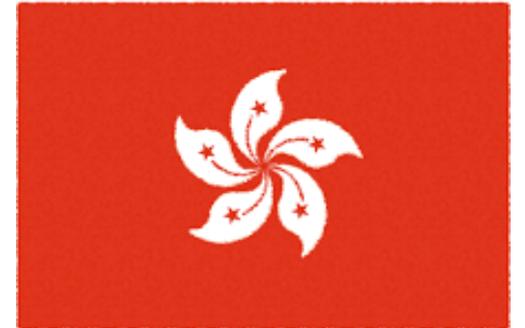
(1990年～2019年)



1.中華人民共和国の概要

2.会社の中国・香港への進出

3. 私の中国・香港訪問時期



1990年→(1回)

2002年→(2回)

2005年～2008年→(毎月1回/10日間、(約120日/年))

2009年～2011年→(年2回)

2012年～2019年→(毎年1回)

1. 中華人民共和国の概要

1.人口--- 1 4 .0 3 4 億人(2023年)

2.国土--- 9 ,597千km²(日本の約25倍)
(米国=9,834千km²、日本=378千km²)

3.建国-- 1 9 4 9 年 1 0 月(現在の年号は西暦)

4.言語---中国語(普通語(北京語))
(方言→上海語、広東語、チベット語他多数)

5.宗教---仏教、道教、キリスト教他(無宗教74%)

6.人種---漢民族92%、回・チワン・ウイグル族他多数



会社の進出

広東省南部

広州市

2006年 国内向け卸販売会社(現地法人100%)設立

東莞市

2005年 自社工場(來料加工)設立
2012年 (現地法人100%化)

深圳市

1990年 私の最初の工場(他社)訪問

中山市

南朗鎮

2002年 自社工場(現地法人100%)設立

香港

2003年 持株会社(100%)設立
2006年 (卸販売開始)

シリーズ代表画像

釣具等



航空写真

渋滞状況

3. 私が体感した中国の変遷(1990年～2018年)

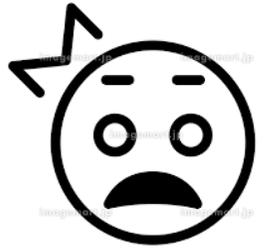
- 1980年代---沿海部の経済特区で工業化が進む
- 1990年代---経済特区を中心に各地で大型工場建設
- 2006年頃---**商売取引は殆ど現金(その場で現金確認)**
- 2007年頃---中国各地で道路・鉄道・マンション等建築ラッシュ
- 2008年頃---**北京オリンピック開催で街が様変わり**
- 2012年頃---**スマートフォンが急速に普及**
- 2015年頃---**自家用車の普及、
買物から乗物まで全てスマホ決済**

急激な生活様式の変化

1990年頃

広東省深圳市の様子

- ・ 香港からフェリーで蛇口港から入国(軍人が自動小銃で見張り)
- ・ 深圳市経済特区は入出(物品)管理
- ・ 当時の深圳市は荔枝(ラ仔)畑が広がる田舎
- ・ 荔枝(ラ仔)畑の一角に工場と寮が隣接
- ・ 工場のワーカーは20歳前後の女性が中心(1960年代の日本)
- ・ 寮は粗末な建物の6畳間程度に一人畳一畳の二段ベッドに8人
- ・ 食事はホーロー鍋にぶっかけご飯(立って食べる)
- ・ 普段の仕事は残業と休出で殆ど休み無し、休みは旧正月(一週間)
- ・ 3年働けば田舎で立派な家を建てられた 給料は約350元(約4.5千円)



それでも彼女達は
幸運(3度の食事等)

1980年代の深圳風景



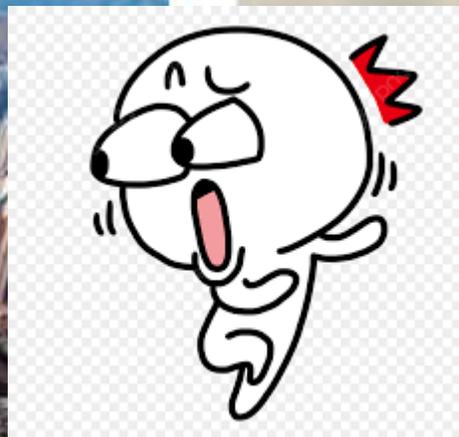
中国どこにでもあるの田舎(農村)

深圳の昔と今の様子

僅か20数年で大都会に



写真左：今の深セン市中心部



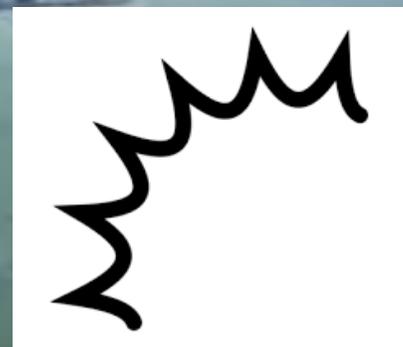
写真右：1982年の深セン市中心部

1990年頃の深圳市蛇口



港近辺の整備が進む

現在の深圳市蛇口



港近辺は様変わり

1980年代の北京市の様子



当時は北京も田舎町

1980年代の広州市の様子

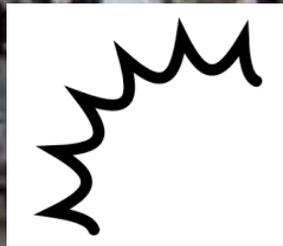


市内の交通手段の中心は自転車

2000年頃の広州市駅前の様子



春節時は帰省客が駅前に100万人以上が集まる

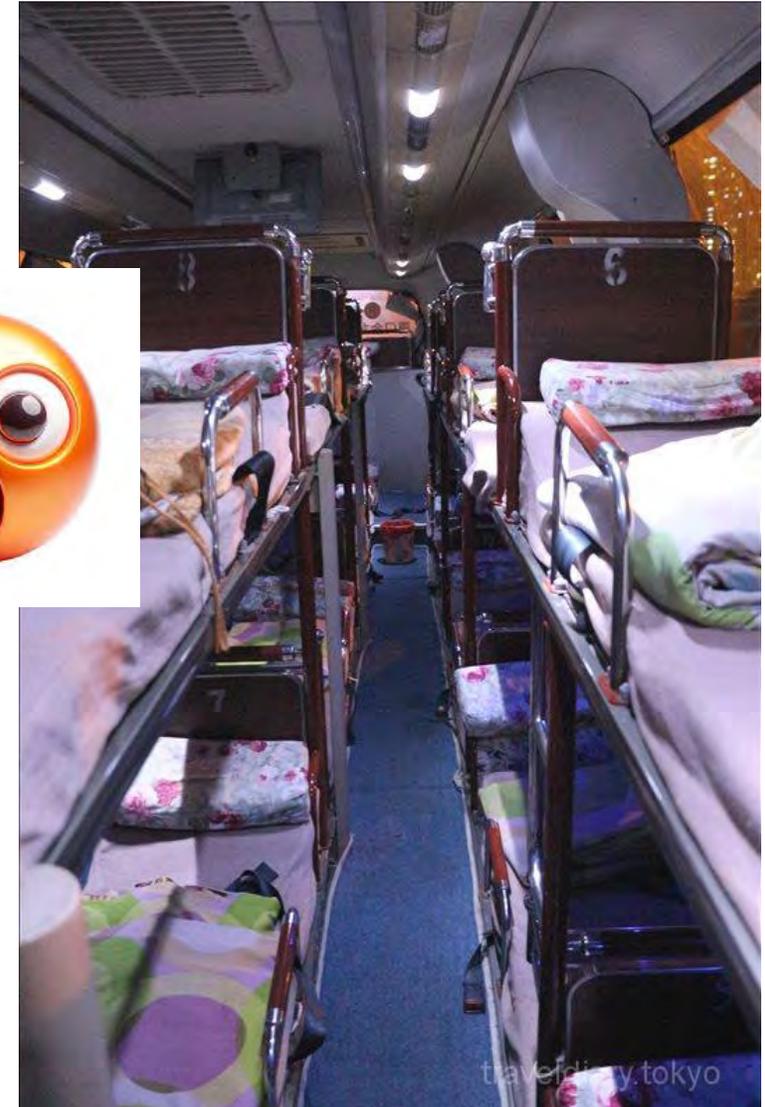


寝台バスの車内



当時は汚く狭い車内

2泊や3泊で運行



traveling.tokyo

2002年頃

南朗鎮は広東省南部
珠海市に隣接する田舎町

広東省南朗鎮の様子

- ・ 広東省中山市(孫文の故郷)隣接の田舎町
- ・ 南朗鎮随一の酒店は宴会場とカラオケ・按摩併設
- ・ 田んぼの一角に唯一の海鮮料理店
- ・ 中心街はひなびた田舎町

工場

- ・ 工員は隣接の寮、幹部は近隣のアパート住まい
- ・ 工員は残業と休日出勤に積極的
- ・ 当時の工員の給料は残業三食込み約1,000元(約1.5万円)

ゴルフ1ラウンド
約700元!

2005年頃

東莞市は広東省南部
深圳市に隣接する市

広東省東莞市の様子

- ・ 東莞市の常平站(駅)は香港からの国際列車最初の駅
- ・ 街は香港人の歓楽街、工場周辺で殺人事件も頻発
- ・ ホテルの二階～三階は大カラオケルーム
- ・ 週末はカラオケルームの騒音が宿泊ルームに響きわたり不眠
- ・ 夜間に日本人がタクシーに乗り身ぐるみ剥がされる事件頻発



工場

- ・ 電力不足(週1～2回停電)で各社自家発電機の導入
- ・ ワーカーは隣接の寮や近隣のアパートで共同住まい
- ・ 工場には鎮(役所)からの幹部を受入れ(1日出社/週)
- ・ 当時のワーカーの給料は残業三食込みで約1,500元(約2.5万円)



2005年頃の東莞市



商店街と歩道

虫よけの街路樹

広東省の街はこのような雰囲気

2005年頃の東莞市





長距離バス

- ・夕方暗くなり始めた頃広州駅前で切符を買って乗車
- ・途中でバスが故障し真っ暗の中全員降ろされる！
- ・代替りのバスも無く周りは見知らぬ田舎のライチ畑
- ・日本人は私だけ

・さて、私はどうしたでしょう？

広州駅前 ↓ 東莞行きのバス
での出来事(順調なら約二時間)

広州市の様子

- 中心地には広州タワー(600m)や高層ビル(中信ビル80階建て)
- 中心地には高層ビルの建設途中でストップしたビルが数棟
- 市内には市場の他”城”と呼ばれる販売店街があちこちに同様の販売店が同地区に数十店規模で(日本の秋葉原の形態)(家具城、電器城、食器城、植木城、スポーツ用品城、釣具城、)
- 釣具城の一角に釣具の展示を兼ねた小売店を開設
- 年2回の北京釣具ショー(約1300社出展)の即売会取引は現金
- 現金預入のための銀行待ち時間は約2時間(1人り30分)
- 釣具の販売会社を設立し中国全土へ商品を発送開始(前受取引)新疆や内モンゴル地区への配送は約1週間(誤送や盗難も頻発)

2007年頃

北京市の様子

- ・オリンピック開催に向けてビル等の建設ラッシュが進む
- ・中国各地からの観光客が増加

大連市、長春市の様子

- ・主な駅の改装が進む
- ・長春市に残る旧満州国庁舎(旧満州国首都(新京))

中国各地で高速道路や高速鉄道の整備が進む

2007年北京市の様子



北京中央電視台(建築中)

2007年北京市の様子

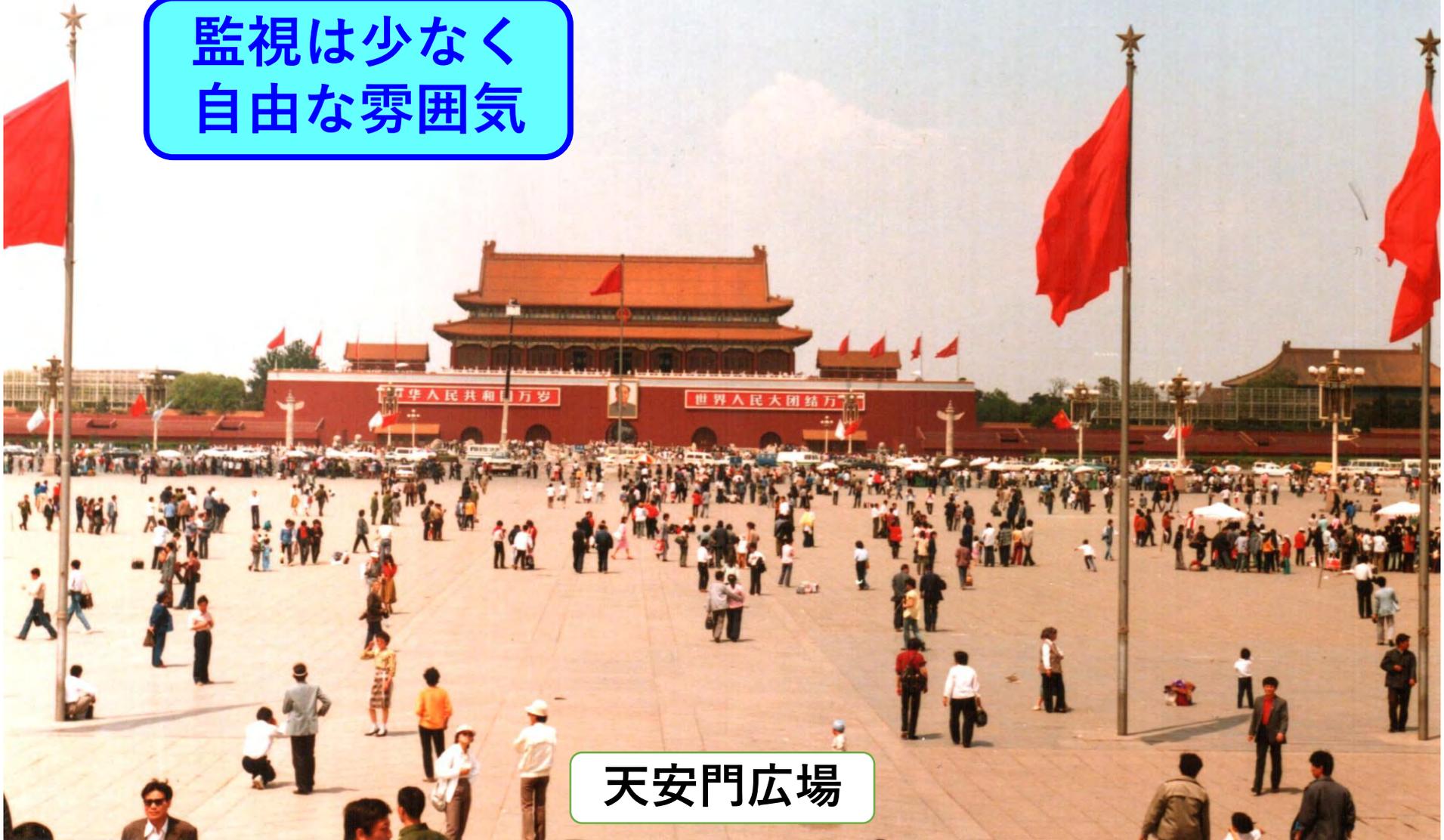


北京故宮(冬の北京)

氷点下10°C

2007年北京市の様子

監視は少なく
自由な雰囲気



天安門広場

2007年大連市の様子

立派な駅舎を新築



大連駅

2007年長春市の様子

立派な駅舎を新築



長春駅

2007年長春市の様子

吉林省



長春(旧満州国庁舎)

2007年長春市の様子

珍しい三輪乗用車



2008年頃

北京市の様子

- 北京オリンピック開催
- オリンピック開催時の見栄えの汚い建物などは巨大なシート等で覆いで隠す
- 北京市内のタクシーが新車に(朝夕大)
- 天安門前広場や故宮は観光客に問題な
- 入国検疫が強化(肉や果物は没収)
- 電車や地下鉄の改札に空港にある探知機を設置



2008年北京市の様子



オリンピックスタジアム

2008年北京市の様子

オリンピックスタジアム



9万人収容

2008年北京オリンピックの様子

マラソン大会表彰式(オリンピックスタジアム)

塚原、末續、高平、朝原

100m × 4 大会日本チーム銅メダル授与式

後に銀メダルに



2008年北京オリンピックの様子



佐藤敦之

マラソン大会(天安門前)

2008年北京郊外の釣堀



釣りの対象魚は鯉類(食用)

釣れた魚はビニール袋に入れて持ち帰り

2008年頃

広東省東莞市、南朗鎮の様子

- ・ 広州や香港との高速鉄道と高速道路網の整備が進む
- ・ 各地の街の整備が進む(中心地や駅前の旧市街地を再開発)
- ・ オリンピックの影響か？カラオケや按摩店の手入れ強化
- ・ ホテル等の大カラオケルームは衰退
- ・ タクシーは行き先を告げ、運転手と事前交渉(現金払い)
- ・ 外資企業に対する関税や法人税等の徴収強化

(税務局には税込ノルマ) ← 成績不振の車

* 税法の解釈は税務局の担当官の判断



れる

高速道路新設



中国各地で高速道路網の建設が進む

新华网

XWNEWS.CN

高速鉄道建設工事



中国各地で高速鉄道網の建設も進む

中国新幹線



乗り心地は問題なし(日本の新幹線パクリ?)

中国リニア鉄道



上海市内⇔浦東機場間(30km)
を最高時速430km(7分20秒)

2002年開業

乗り心地はスムーズ

路線付近では磁波の影響あり？

東莞市・南朗鎮の工場

1日の重油代約50万円



- 相変わらずの電力不足(週1~2回停電)で各社自家発電機の導入
- 社員は観光バスで周辺の観光地に社内旅行(年一回一泊二日)
- 社内でバスケット大会や綱引きが人気
- 社内の工場の一角を整理して大忘年会(年一回、豪華景品)
- 広東省では幹部等がマンション購入(当時20万元(約300万円))
- 当時のワーカーの給料は残業三食込みで約2,000元(約3.0万円)
- 香港系や台湾系の工場規模は半端なくデカイ工場が多い!
南朗鎮工場(約1,000人)近くのシューズ工場は約20,000人

日本の1980年頃の雰囲気

広東省南朗鎮工場 5 周年記念会(2008年)



南朗鎮書記長

貢献社員の表彰

広東省南朗鎮工場 5周年記念会(2008年)



社員によるホステス

スタイル抜群の美女

社員の誰か不明??

広東省南朗鎮工場忘年会(2008年)



可愛い女性社員達

広東省南朗鎮工場職場対抗綱引き大会(2008年)



広東省南朗鎮工場忘年会(2008年)

忘年会では豪華景
品の抽選会
(一等はテレビ等)



600人が工場の一角に60卓を囲む

60卓ごとに白酒で乾杯の挨拶!

日本人の大半は急性
アルコール中毒
に!!



広東省南朗鎮工場忘年会(2008年)



社員によるダンス

広東省南朗鎮工場忘年会(2008年)



現地幹部社員と熱唱(中国語)

2012年頃

広東省南朗鎮の様子

- ・ 水田や山を削り高層マンションの建設ラッシュ
当時のマンション(約100m²)の価格は約100万元(約17百万円))
- ・ スマートフォンが普及
- ・ 中カラが衰退(地下化?)
- ・ 街の整備と中心部にモール建設、広州⇔珠海の高速鉄道開通

一般の社員は買えない

工場

- ・ 電力不足はほぼ解消 発電機が不要に!
- ・ 工場幹部の自家用車所有が増加(安価な車は約7万元(約1百万円))
- ・ 当時のワーカーの給料は残業三食込みで約3,000元(約5.5万円)

広東省中山市南朗鎮工場幹部と会食(2012年)



現地幹部は女性が5割

広東省中山市孫文記念館(2012年)



日本の釣具小売店(子会社)幹部を引率も

2019年頃

広東省南朗鎮の様子



- ひなびた地域にも高層マンションが立ち並ぶ
- ひなびた地域の夜の高層マンションは **大半が空き室** だら
- 開発された中心街のモールも客はちらほら
- 市場の買物から外食など殆どスマホ支払いに(老人も)
- タクシーはスマホ利用(スマホでなければ街で拾えず)

工場

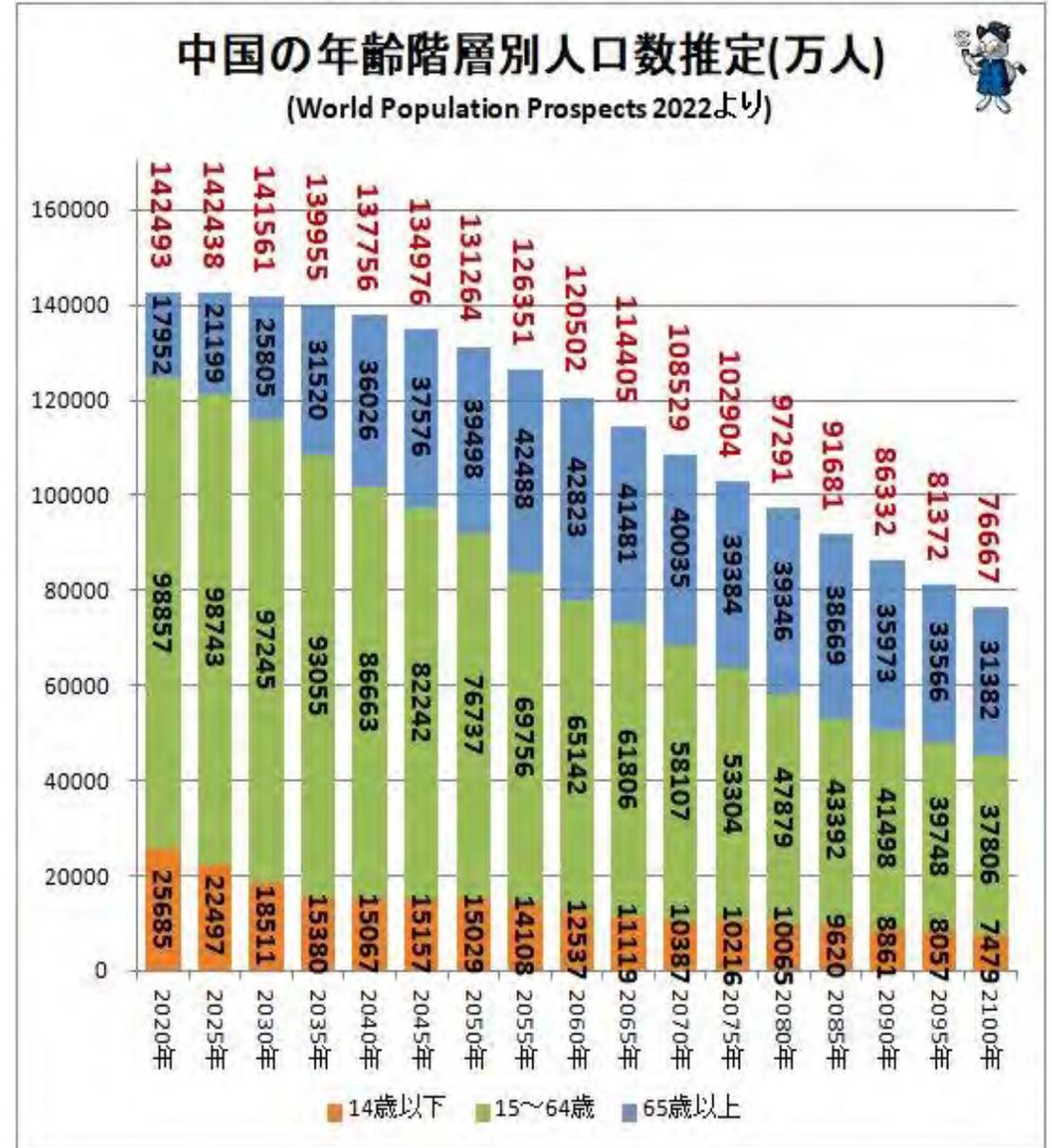
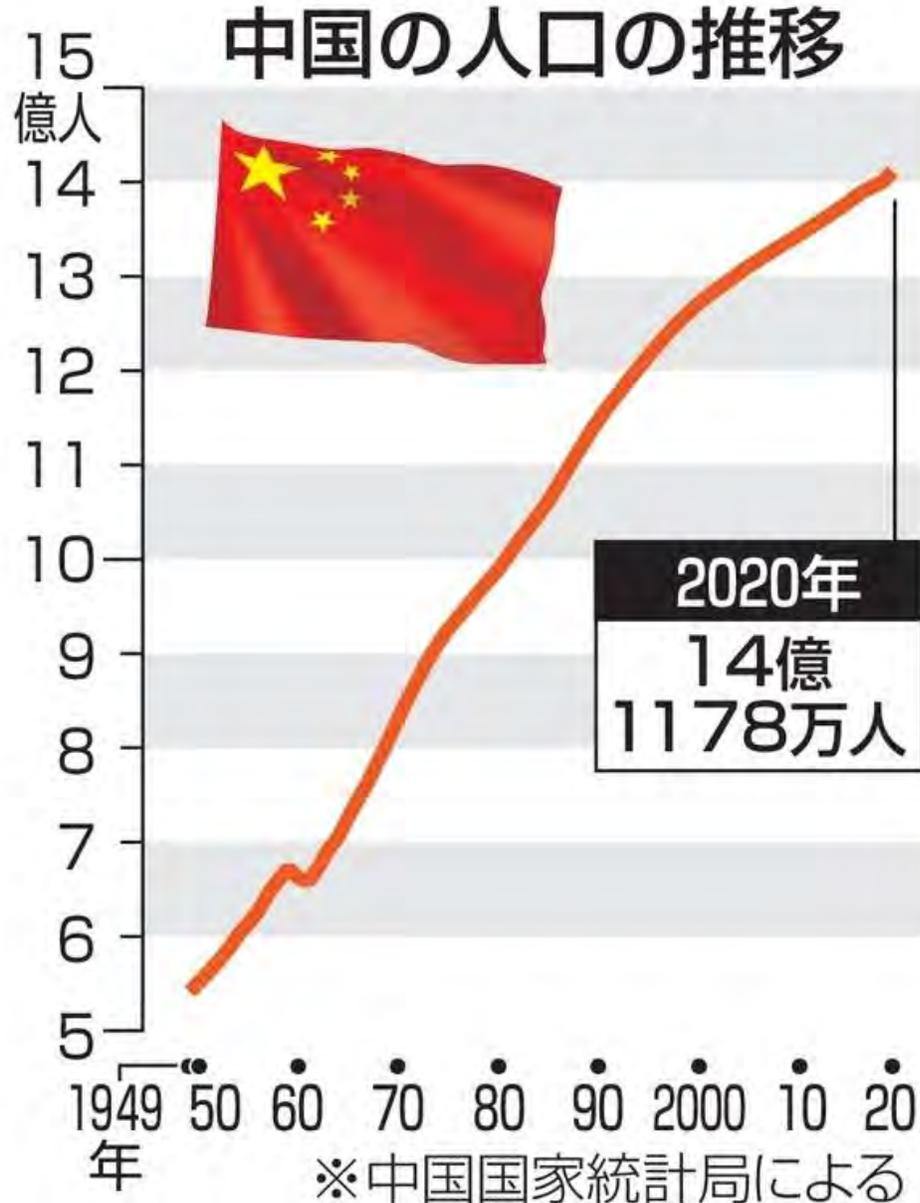
- 工場社員は残業に消極的、**社員の自家用車保有が増加**
- 当時のワーカーの給料は残業三食込みで
約4,000元(約7.5万円)

中華人民共和國歴代主席の変遷

- 毛沢東---1949年～1976年(28年間) * 中共樹立、文革
- 華国鋒---1976年～1978年(2年間) * 四人組追放
- 鄧小平---1978年～1989年(11年間) * 改革開放
- 江沢民---1989年～2002年(13年間) * 天安門事件、軍拡
言論統制等は割と緩やか
- 胡錦濤---2002年～2012年(10年間) * 経済大国推進
- 習近平---2012年～ 監視が巧や密告監視で外では窮屈な言動

中国の人口推移

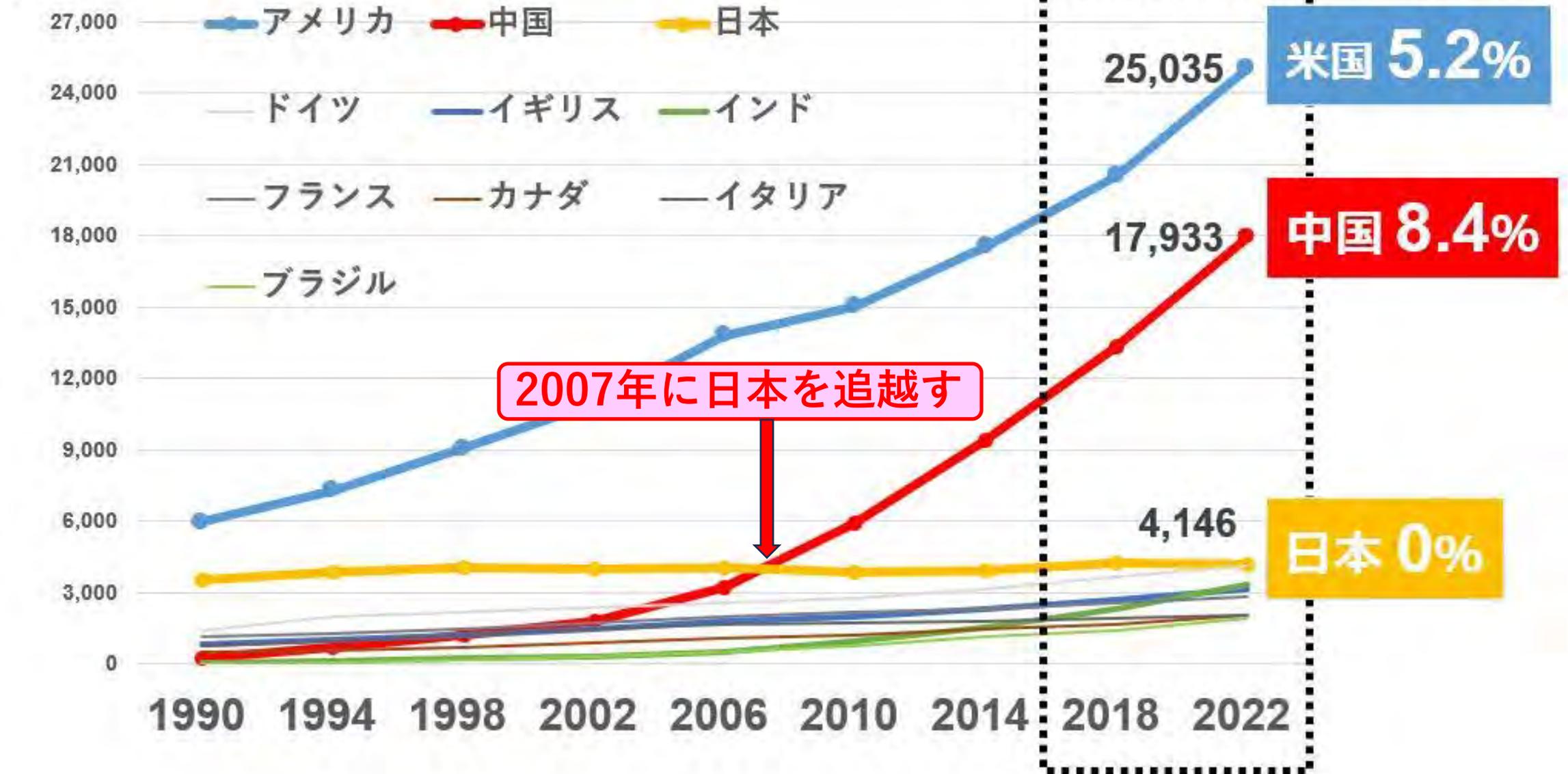
少子高齢化が進行



世界のGDP推移

(十億ドル)

直近5年
平均成長率



中国が公表した「2023年版標準地図」

理不尽な国有圏主張

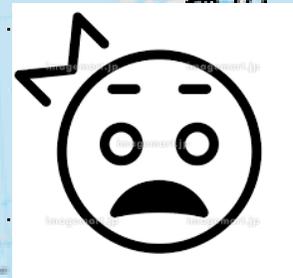
尖閣諸島を中国名の「釣魚島」と表記

係争地のインド北東部アルナチャルプラデシュ州の一部などを領土に編入

台湾東部に新たに線が引かれ「10段線」に

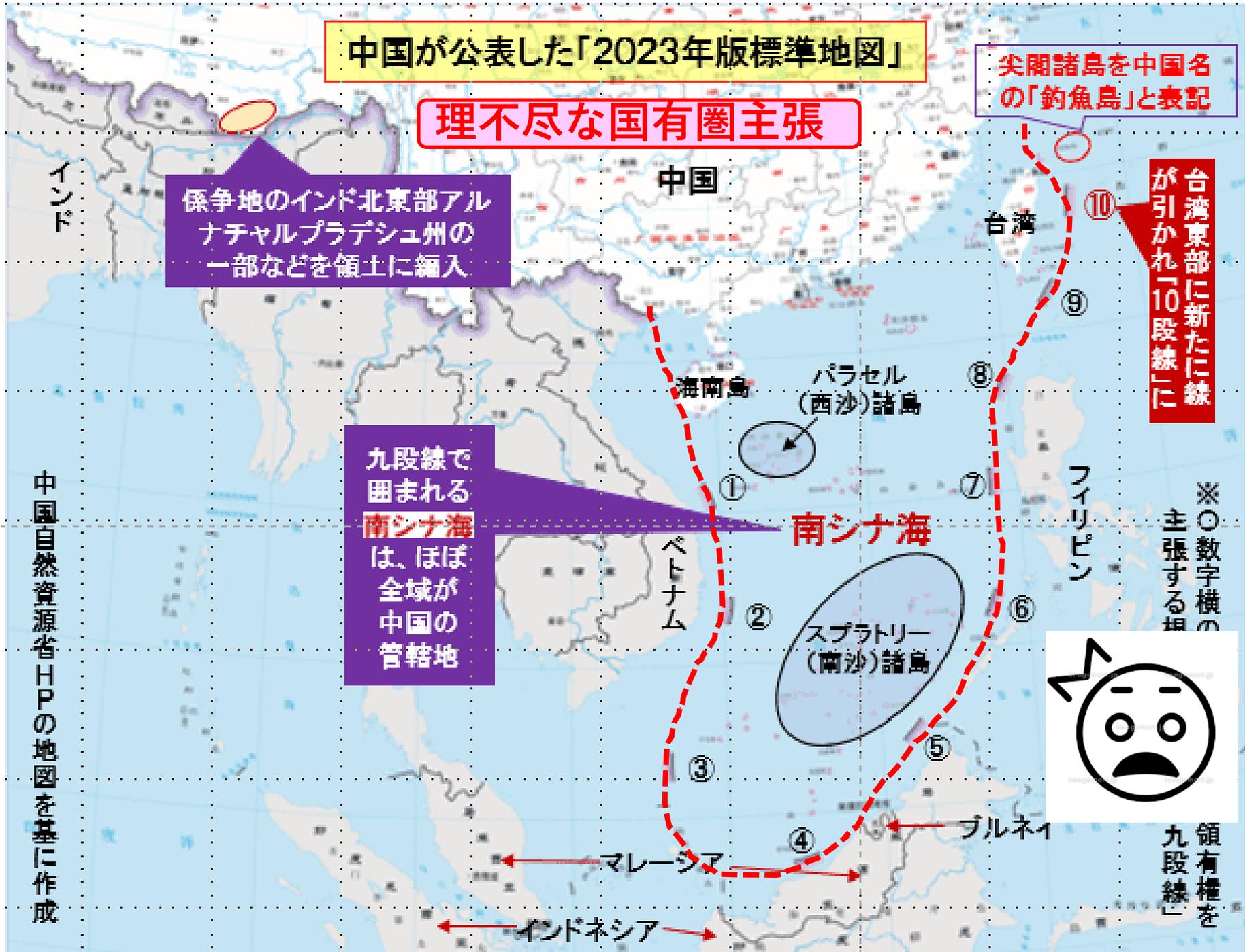
九段線で囲まれる南シナ海は、ほぼ全域が中国の管轄地

※○数字横の主張する根



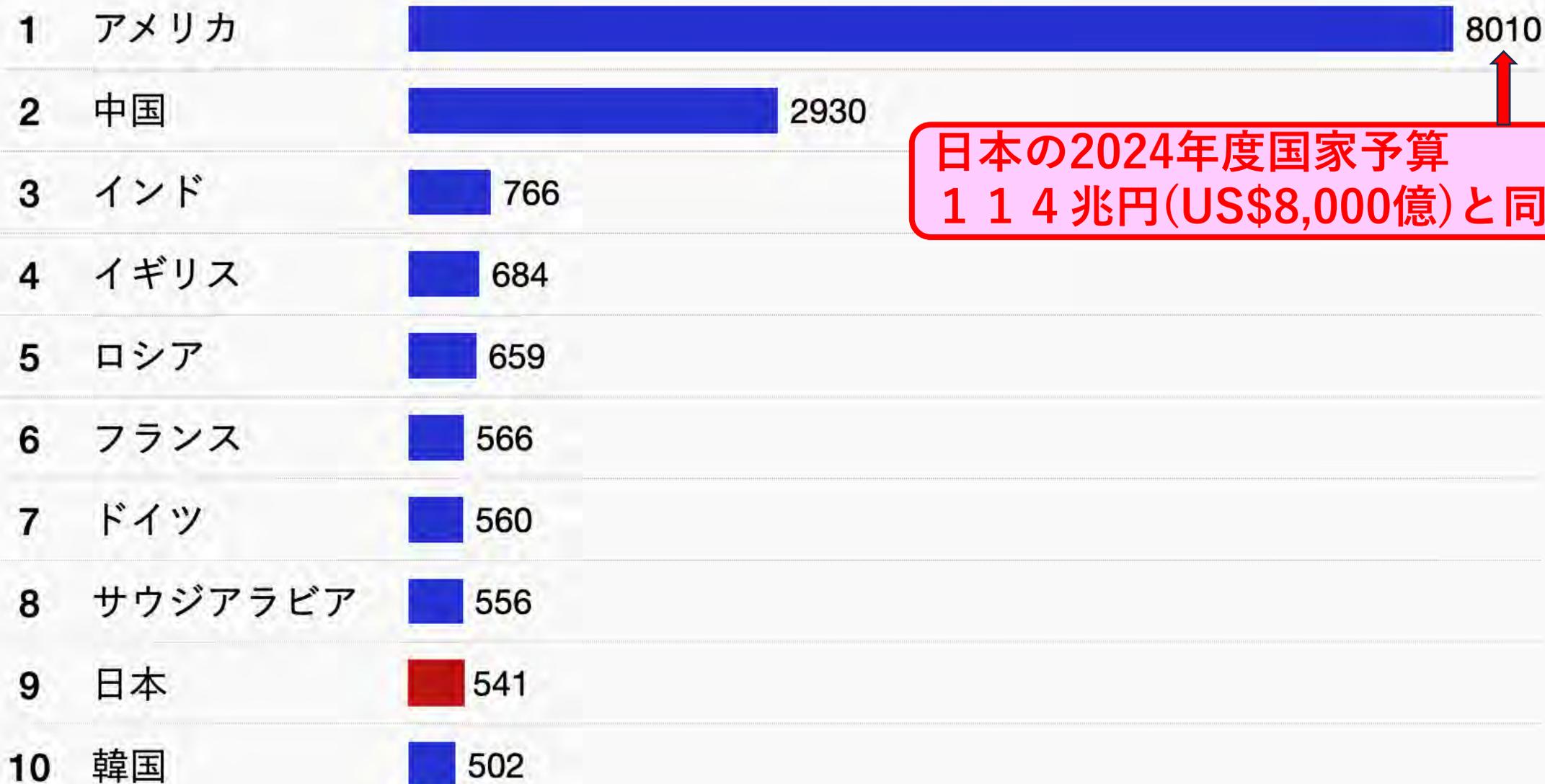
領有権を「九段線」

中国自然資源省HPの地図を基に作成



世界の軍事費ランキング

2021年 / 億ドル



中国の経済指標

1. GDP -----US\$17兆7,008億(2位)、(日本US\$4兆2,308億(4位))

2. 一人当たり GDP --US\$12,514(74位)、(日本US\$33,806(34位))

3. 税制-----1.法人税率25%、2.消費税1~40%、増値税17%

関税

4. 主な貿易品

(1)輸出-----機械・電気品(42%)、繊維品(9%)、非金属品(8%)

(2)輸入-----機械・電気品(31%)、鉱物性生産品(29%)、化学工業品(7%)

5. 主な貿易国

(1)輸出-----米国(19%)、香港(12%)、日本(6%)、韓国(5%)、ドイツ(3%)

(2)輸入-----韓国(10%)、日本(9%)、台湾(8%)、米国(8%)、ドイツ(5%)

私の中国感

- ・文化大革命で都会のブルジョワ達が生田舎に下放されたが、彼らの子ども達には**聡明な人が多い**
- ・改革開放政策で中国各地から働き手が沿岸部へ移動したたことで、沿岸部では相互の**素性不明などで殺伐となった**
- ・本来は家族(親類)や地域のまとまりを大切にする国民性
- ・信頼関係を築けば**親密な付き合い(子や孫の代まで)**
- ・国土も広大で**物事を構築する年月や規模が長大(万里の長城等)**
- ・国土も広大で他民族国家のため**一党独裁以外では崩壊？**
- ・現在は**生活は豊かになるも自由な発言は制限され、一般人の持ち家も叶わず、高学歴若者の失業率も増加し不穩に！**

中国が抱える問題

1. 一国統一

2. バブル崩壊

3. 経済成長の維持

4. 食料・資源の確保

5. 人口減少と高齢化

6. 人権・言論・デモ統制



ご清聴ありがとうございました